

ステンレスユニットシェルフ・追加棚・コーナータイプ

組立・取扱説明書

この度は本商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を理解した上で、正しく組み立て、正しくお使いください。
また、本書はいつでも確認できるように大切に保管してください。

もくじ	ページ
重要なお知らせ（安全上のご注意）	2 ～ 3
パーツリスト	4
組立方法	5 ～ 13
ご使用方法	14
お手入れ方法	14
ご使用に際して	15
製品仕様	16
お問い合わせ先	16

重要なお知らせ（安全上のご注意）

必ずお守りください。

本書には、お使いになる方や他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

●表示の説明

誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定される内容です。



注意

使用者が傷害（※2）を負うことや物的損害（※3）が発生することが想定される内容です。

●図記号の説明

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です。）



してはいけない「禁止」の内容です。



実行しなければならない内容です。

※1 重傷とは、失明やケガ、やけど、骨折、中毒、感電などで後遺症が残るもの及び治療に入院、長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療や入院や長期の通院を要しない、ケガ、やけどをさします。

※3 物的損害とは、家屋、家財にかかわる拡大損害をさします。



警告



禁止

- 商品の上部のみに片寄って収納しないでください。バランスをくずし、商品が転倒してケガをするおそれがあります。
- 上部に重たい物は置かないでください。地震などで物が落ちたり、本体ごと倒れたりして、ケガをするおそれがあります。
- 商品で電化製品の電源コードを踏まないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となるおそれがあります。
- 不要になった梱包材は、幼児の手の届くところに置かないでください。頭からかぶるなどしたときに、口や鼻をふさぎ、窒息するおそれがあります。
- フィッティングパーツは小さな部品です。幼児の手の届くところには置かないでください。また、紛失しないでください。誤飲した場合、窒息などのおそれがあります。



行う

- 棚セット（※）もしくは、追加用帆立（単品）に付属の組立・取扱説明書をよく読み正しくお使いください。組み立てた商品に対し、お使いになる上での注意が記載されており、ケガを防ぎ、安全にお使いいただくために重要です。
- 建物の壁や床、天井などに固定用か家具（専用もしくは市販）や固定部材でしっかりと帆立を固定してください。地震などで商品が倒れ、ケガをするおそれがあります。
- 壁に対して転倒防止を目的とした固定を行う場合は、連結数の多い方を壁側にして設置してください。連結数の少ない方を壁に固定すると、転倒防止の効果が下がるおそれがあります。

※ステンレスユニットシェルフシリーズ、スチールユニットシェルフシリーズの帆立・棚板・クロスバーがセットになった商品。

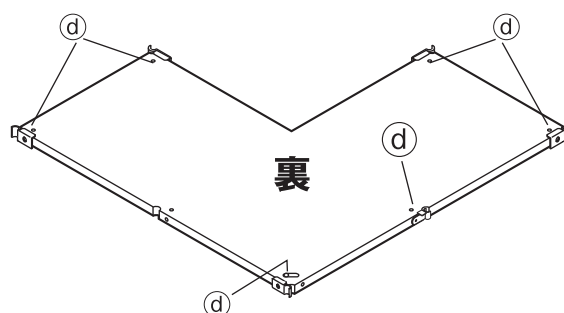
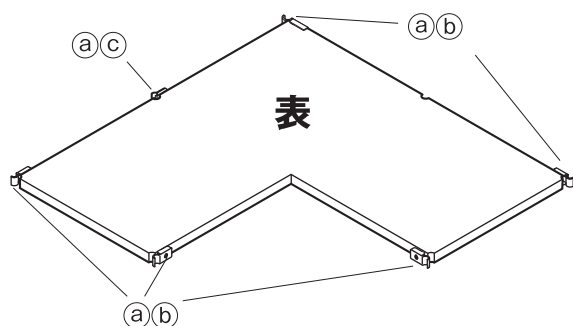
⚠ 注意	
 禁止	● 組み立てが不完全なまま使用しないでください。中途半端な取り付けですと、固定部分がはずれてケガの原因になることがあります。 ● 移動の際は、商品を引きずらないでください。商品の破損、床面へのキズの原因となります。 ● 本来の用途以外では使用しないでください。思わぬ事故やケガの原因となります。 ● 奥行寸法の異なる帆立に取り付けしないでください。固定できず、商品の落下によりケガをするおそれがあります。 ● 耐荷重を超えて物をのせたり、耐荷重内でも一部に片寄ってのせたりしないでください。変形や破損によりケガをするおそれがあります。 ● 修理および改造はしないでください。商品の強度が弱くなり、ケガをするおそれがあります。 ● 屋外では使用しないでください。変形や著しい劣化が起こりケガをするおそれがあります。
 行う	● 使い始める時は、室内の換気を十分にしてください。接着剤などに含まれるホルムアルデヒドが残っている可能性があり、化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状をおこすおそれがあります。 ● 組み立ては必ず2人以上で行ってください。1人では商品破損や商品落下などによりケガをする原因となります。 ● ボルトにゆるみがないか定期的に点検し、ゆるみはじめたらしっかり締め直してください。ゆるんだまま使用すると、ケガや破損のおそれがあります。 ● 各部にグラつきや破損がないか定期的に点検し、異常が認められたら使用を中止してください。そのまま使用すると、ケガや破損のおそれがあります。

お願い (その他 注意)	
	● 高温や乾燥した場所で長期間設置はしないでください。商品の反りやゆがみ、割れなどが生じる原因になります。 ● 直射日光や照明、ストーブやエアコンなどの冷暖房器具の熱や風を商品に直接あてないでください。反りやゆがみ、割れ、変色などの原因になります。 ● 商品に直接熱いものや濡れたものを置かないでください。反りやゆがみ、割れ、変色、カビなどの原因となります。 ● 商品の上にビニール製品 (塩化ビニル樹脂など) を直接、長時間置かないでください。変色したり塗装がはがれる原因となります。 ● 開封後の梱包材は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。 ● 組み立ての際は、手袋などをつけて作業してください。思わぬケガの防止になります。

※各リストは **オーク材** **ウォールナット材** ともに共通です。

①追加棚・コーナータイプ×1

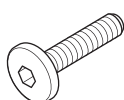
※①②③④が取り付けられています



※表・裏面があります

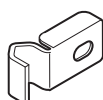
フィッティングパーツ

①ボルト×6



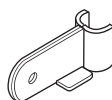
※①追加棚コーナータイプに取り付けてあります。

②フック×5



※①追加棚コーナータイプに取り付けてあります。

③Y字フック×1



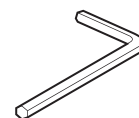
※①追加棚コーナータイプに取り付けてあります。

④ナット×6



※①追加棚コーナータイプに取り付けてあります。

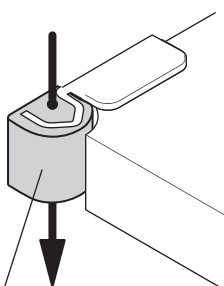
⑤六角レンチ×1
(4mm)



※棚板のフックに取り付けてある白いプラスチックは物流中のつぶれ防止パーツです。組み立てる際に取りはずしてください。

マイナスドライバーなどで垂直に押し下げてください。

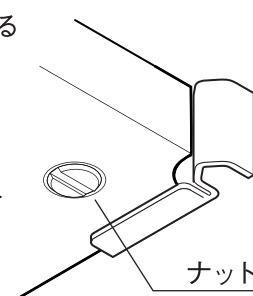
つぶれ防止パーツ



※棚板はナットが付いている面を裏にして取り付けてください。

棚板

面



組み合わせパターン(例)

┃：帆立の取り付け位置を示します。

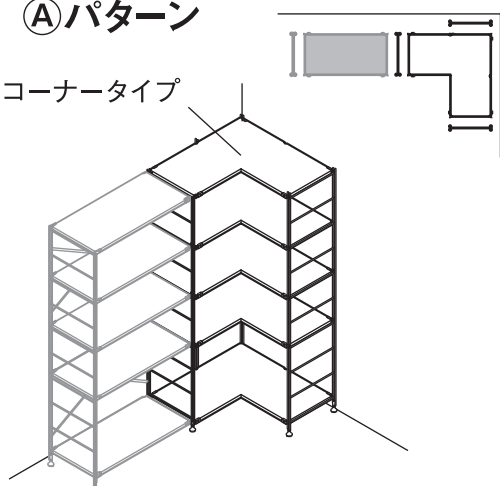
例：帆立・大にて組み立て（追加棚5枚使用）

※①③⑤パターンと②④⑥パターンでは金具の取り付け位置が異なります。（手順2参照）

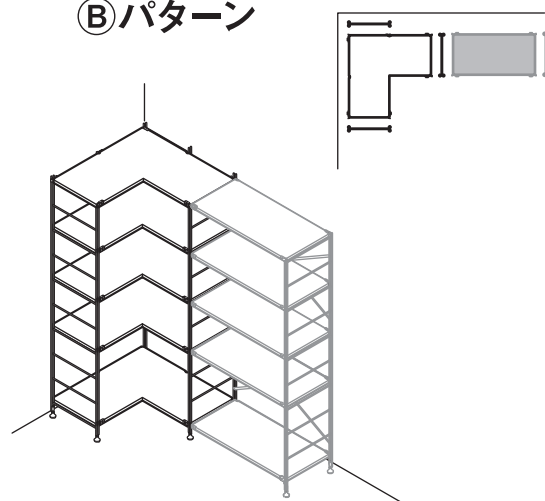
※①～⑥のパターンは、組み合わせ方法を説明するための基本パターンであり、一例です。

①パターン

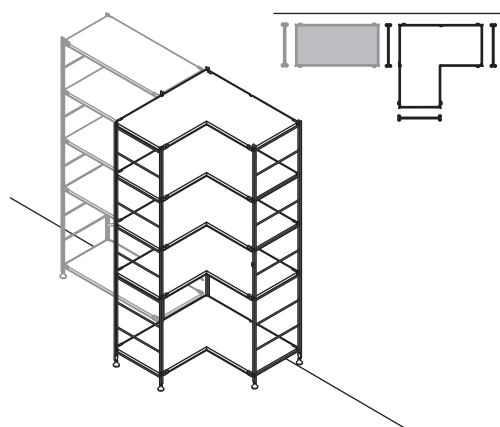
追加棚・コーナータイプ



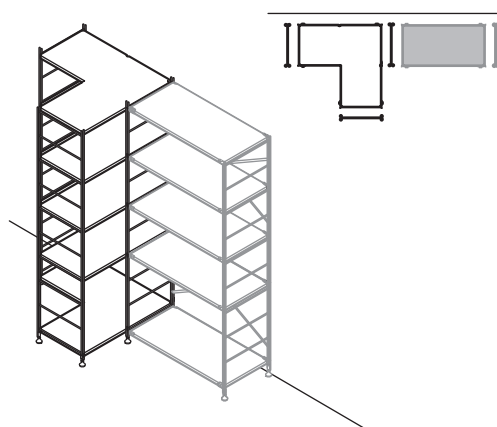
②パターン



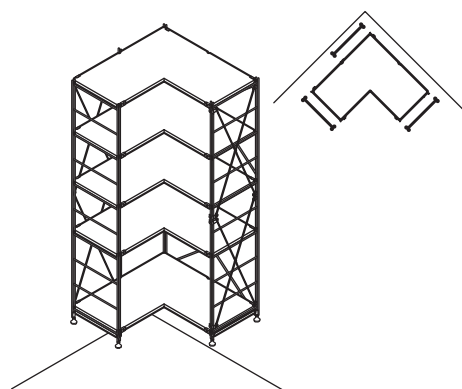
③パターン



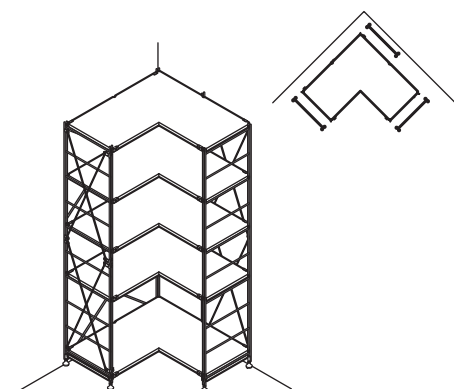
④パターン



⑤パターン (単独自立型)

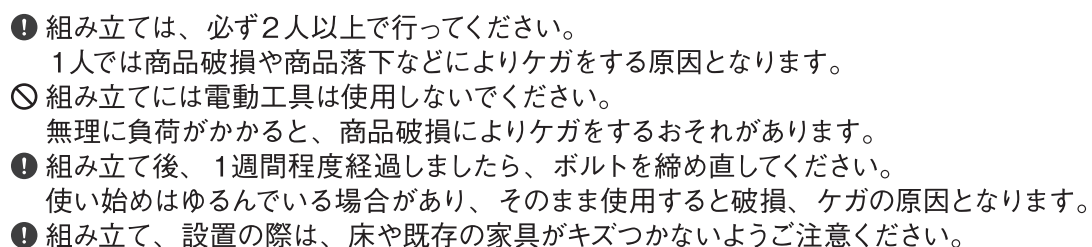


⑥パターン (単独自立型)



共通

ウォールナット材



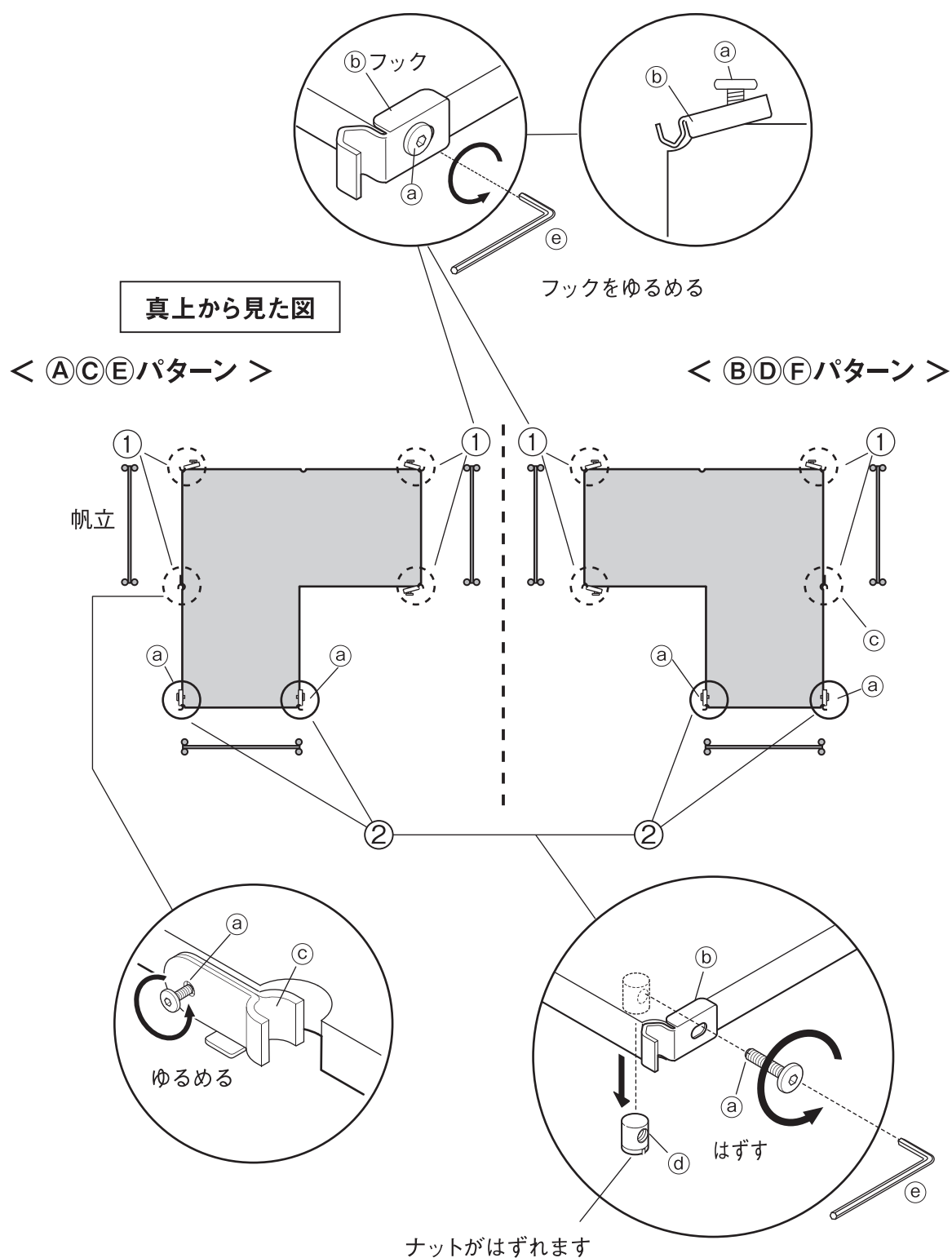
1

② フックの向きを変えて取り付けます。※①③⑤パターンは、付け替えなしでそのままご使用になれます。



2

- ① ① 追加棚・コーナータップに固定されている②の③フックと、④Y字フックの⑤ボルトを下図のように⑥六角レンチでゆるめてください。
- ② 次に⑦の⑤ボルトをゆるめ、追加棚前側の③フック（2ヶ所）をはずします。
（※⑧ナットも同時にはずれますので、紛失しないよう、ご注意ください）
取りはずしたパーツは、手順④にて再度取り付けに使用します。



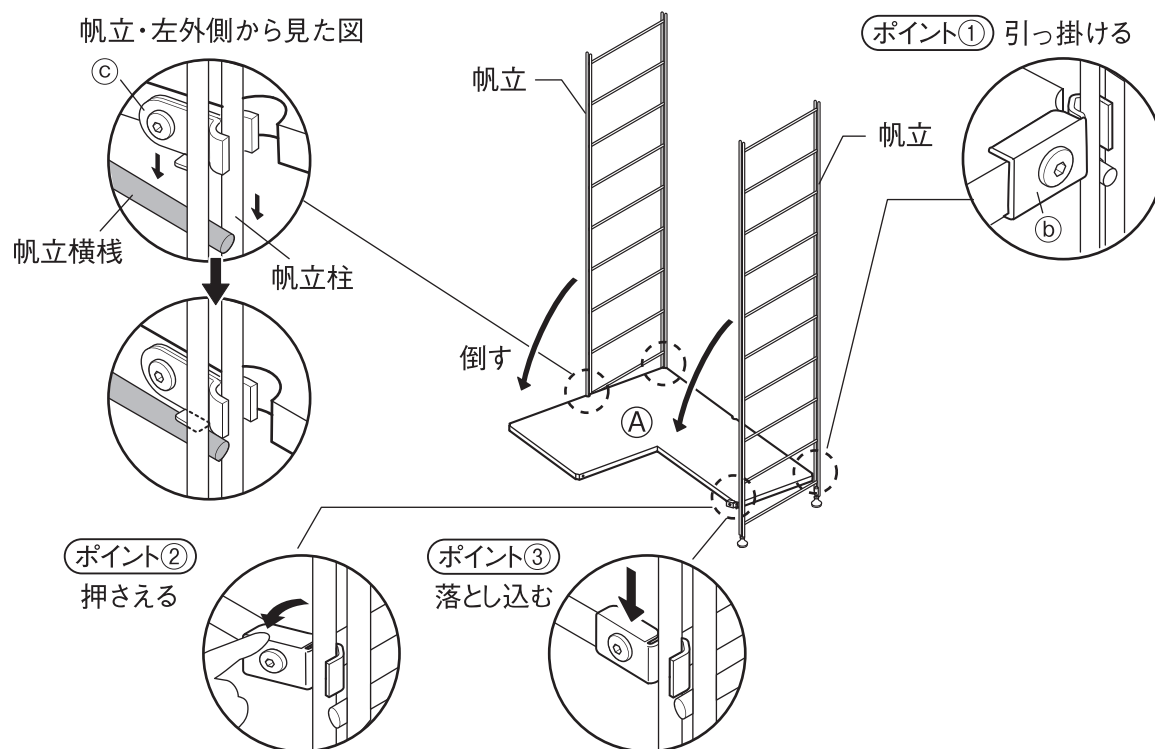
・それぞれの組み立てパターンに応じた手順を確認してください。

①②パターン（追加棚・コーナータイプの取り付けかた）

（※イラストは①パターンを例としています）

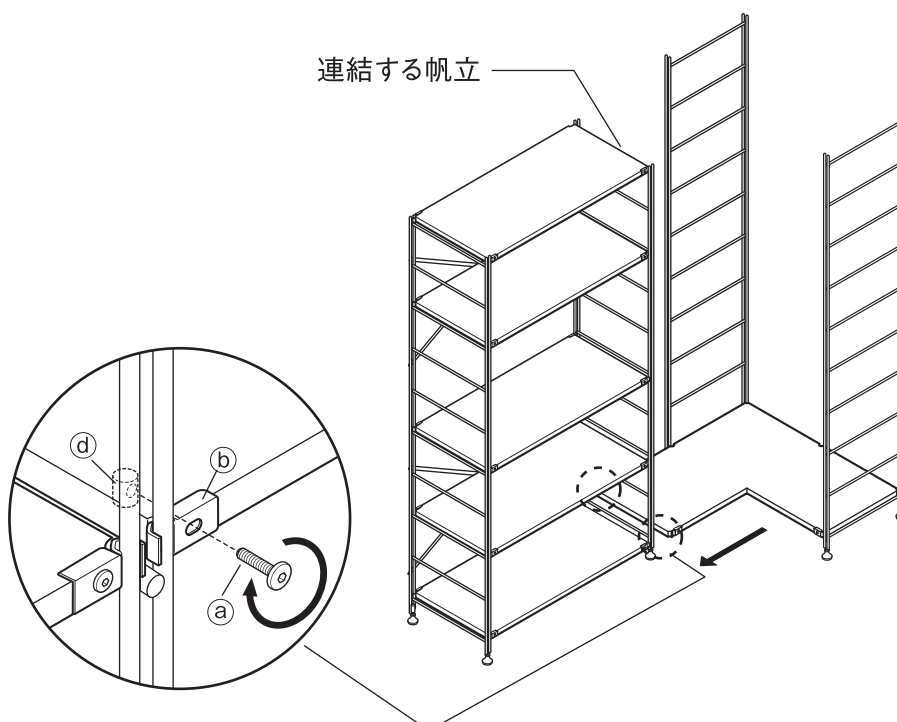
3

①追加棚・コーナータイプを斜めにし、まず背面側の②フック2ヶ所を、帆立の帆立柱に引っ掛けます。**ポイント①**
 前面の②フックを指で手前に押さえながら **ポイント②** 帆立柱に引っ掛けて落とし込みます。 **ポイント③**



4

①追加棚コーナータイプを連結する帆立に合わせて、手順**2**－②ではずした
 ①ボルト、②フック、③ナットを使用し、組み合わせて、しっかり固定します。



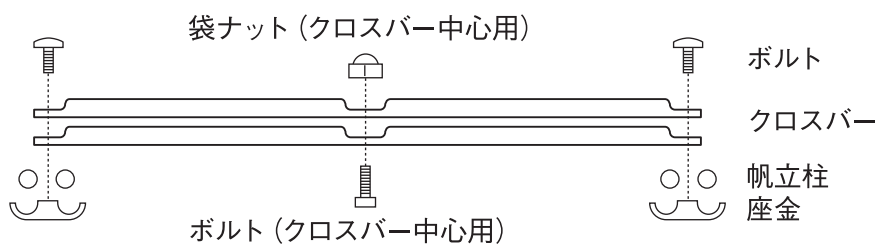
5

手順③～④と同じ要領で、他の④追加棚・コーナータイプを取り付けます。

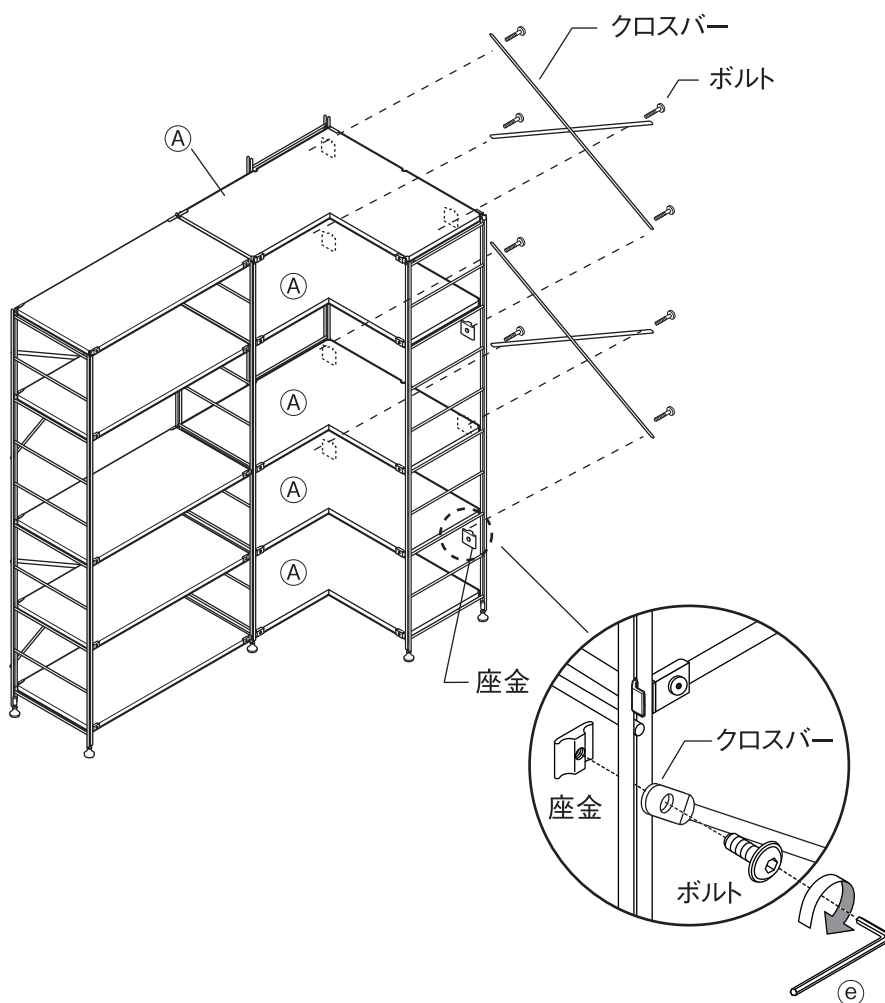
6

別売りの「ステンレスユニットシェルフ・クロスバー・小・大・特大」の組立説明書に従い、クロスバーを取り付けてください。

クロスバーの重ね方



※それぞれのクロスバーの向きを上図のように重ねてください。
平らなほうからボルトを通し、へこんでいるほうを袋ナットで
仮止めます。なお、クロスバーには上下の区別はありません。

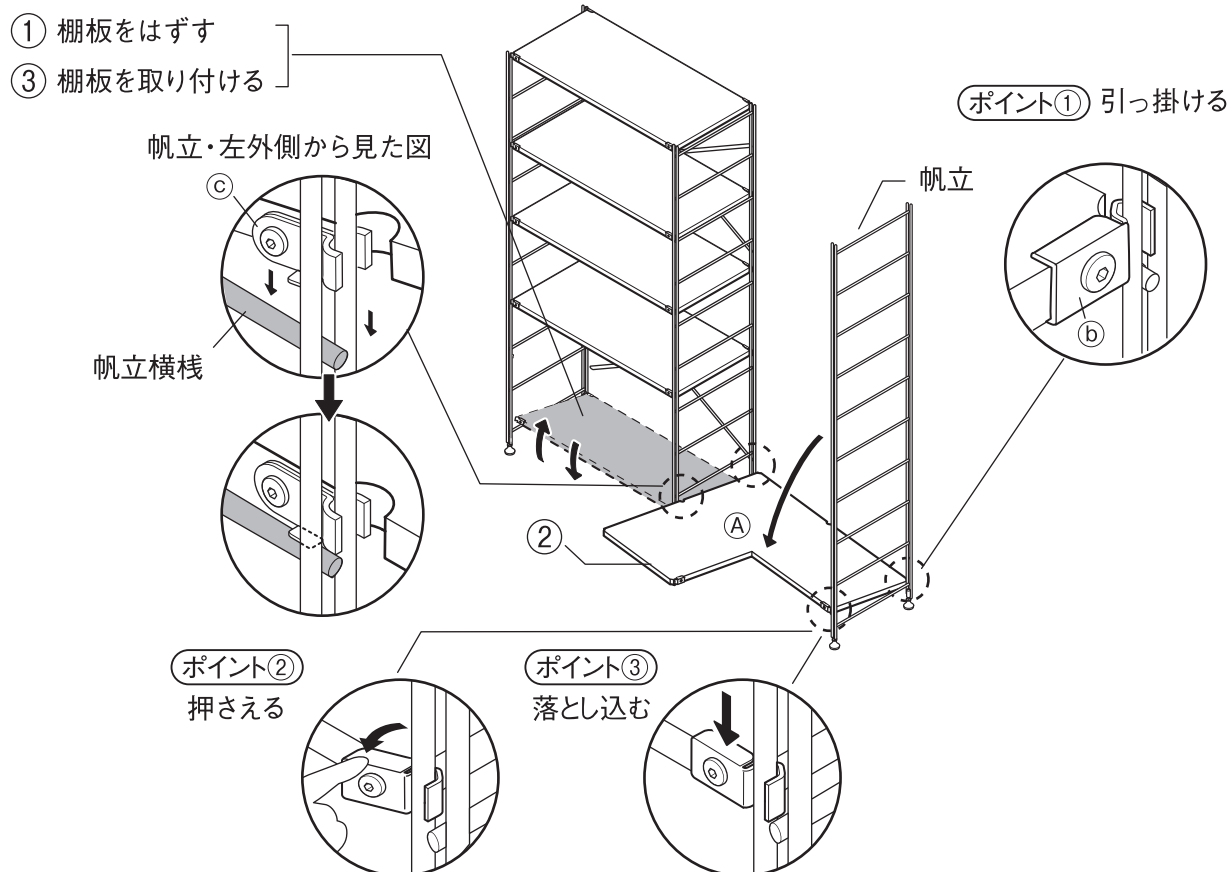


㉔㉕パターン（追加棚・コーナータイプの取り付けかた）

（※イラストは㉔パターンを例としています）

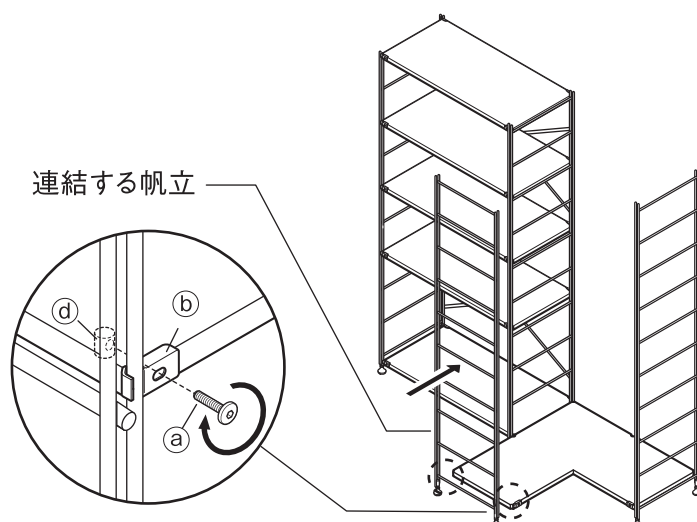
3

- ① 既に取り付け済みの棚板の横に㉔追加棚・コーナータイプを取り付ける場合、
㉔Y字フックが締められないため、棚板を一度はずしてください。
- ② その後、㉔㉕パターンの手順**3**の要領で、㉔追加棚・コーナータイプを取り付けます。
- ③ はずしていた棚板を再度取り付けます。



4

- ㉔追加棚・コーナータイプを連結する帆立に合わせて、手順**2**－②ではずした
aボルト、bフック、dナットを使用し、組み合わせて、しっかり固定します。



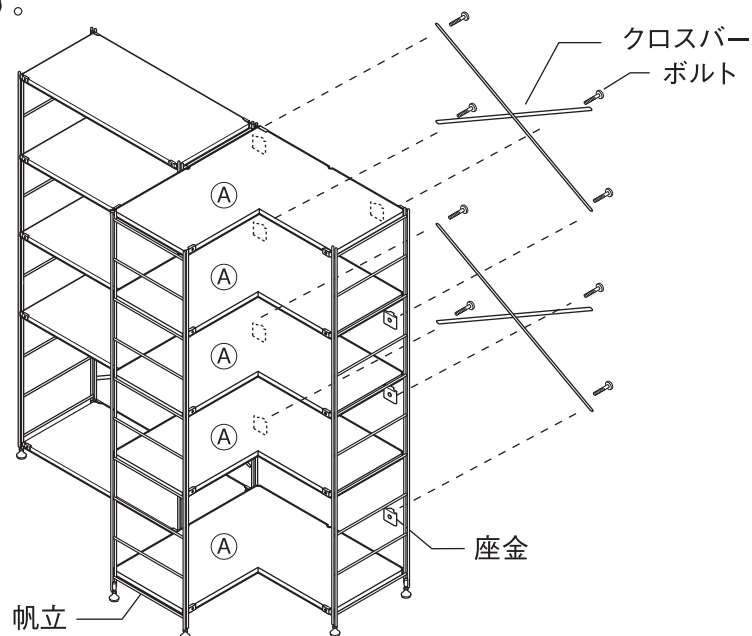
5

手順 **3** ~ **4** と同じ要領で、他の **(A)** 追加棚・コーナータイプを取り付けます。

6

(A) **(B)** パターンの手順 **6** の要領でクロスバーを取り付けます。

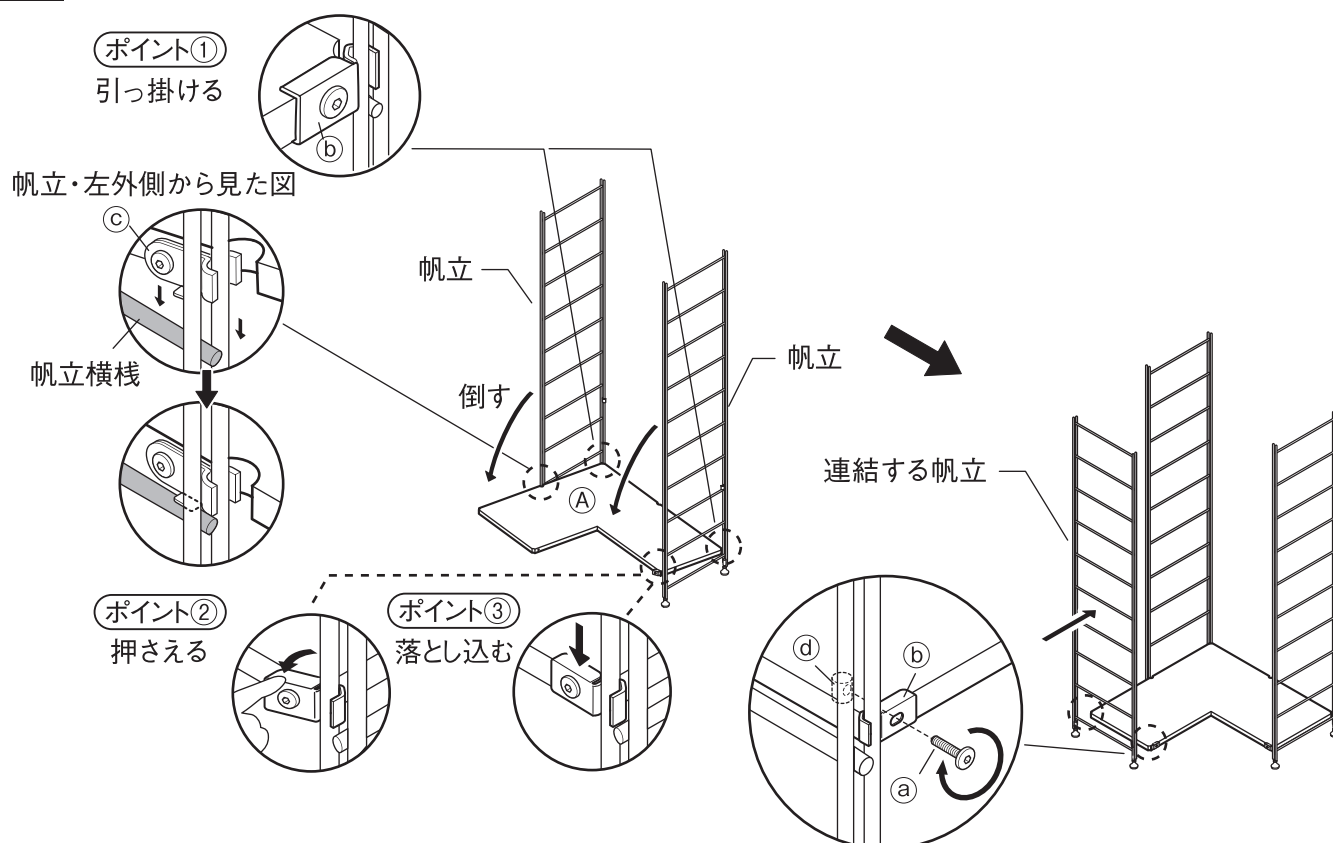
※クロスバーは別売りです。



(E) **(F)** パターン (単独自立型/追加棚・コーナータイプの取り付けかた)

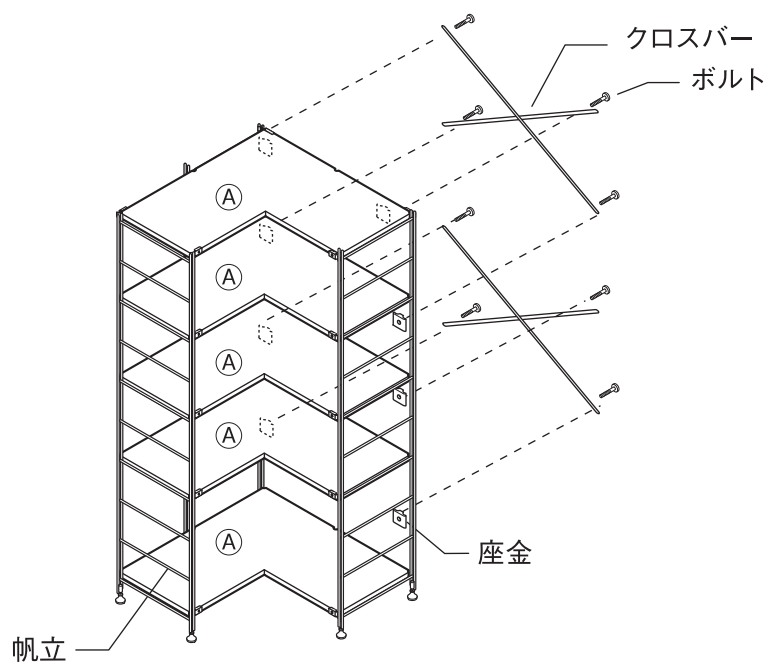
3

(A) **(B)** パターンの手順 **3** ~ **6** と同じ要領で、**(A)** 追加棚・コーナータイプを取り付けます。



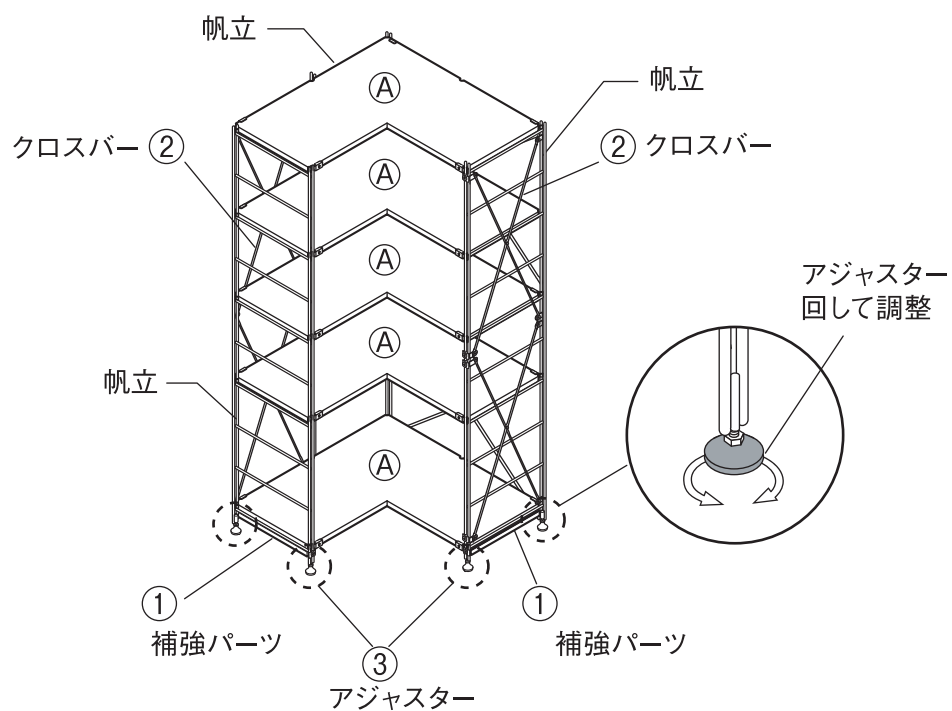
3

(つづき)



4

- ① ステンレスユニットシェルフ用・帆立補強パーツ・3本セット (別売り) を取り付けます。
- ② ステンレスユニットシェルフ用・クロスバー (小) セットもしくは、ステンレスユニットシェルフ用・クロスバー (中) セット (別売り) を取り付けます。
- ③ 商品設置後に商品がガタつかないように、アジャスターで調整してください。

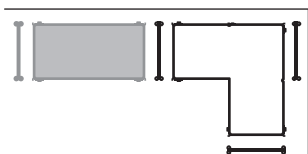


組み合わせパターンについてのご注意

※構造上、帆立の位置関係により、本体が揺れやすくなるため、下の図の組み合わせはしないでください。



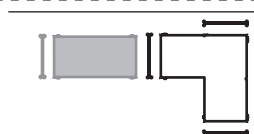
禁止



- 上図の組み合わせの場合は、
①パターンで連結してください。



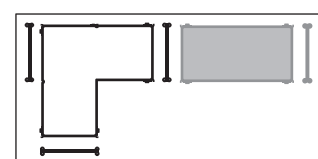
正しい



①パターンで連結



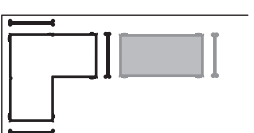
禁止



- 上図の組み合わせの場合は、
②パターンで連結してください。



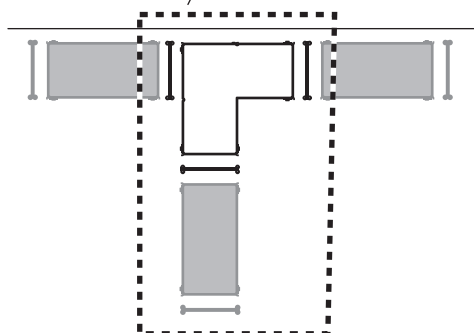
正しい



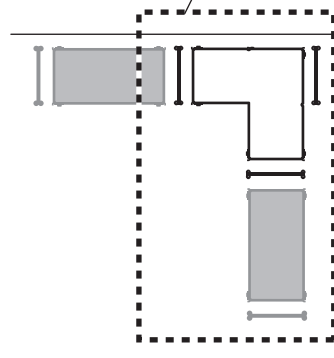
②パターンで連結

※①、②パターンで組み立てた上で、以下の形状にする場合は組み立て可能です。

①パターン



②パターン



□ : 追加棚・コーナータイプ

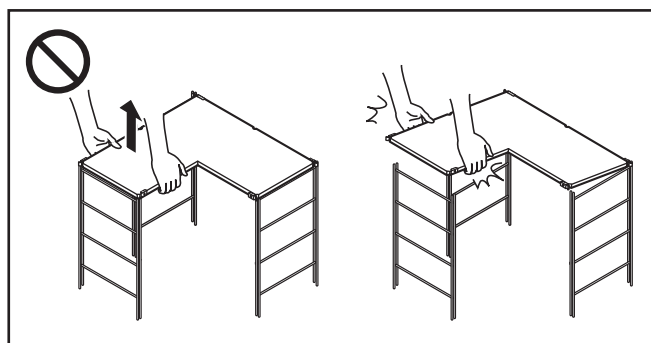
■ : 連結するその他のユニットシェルフ

ご使用方法

移動について

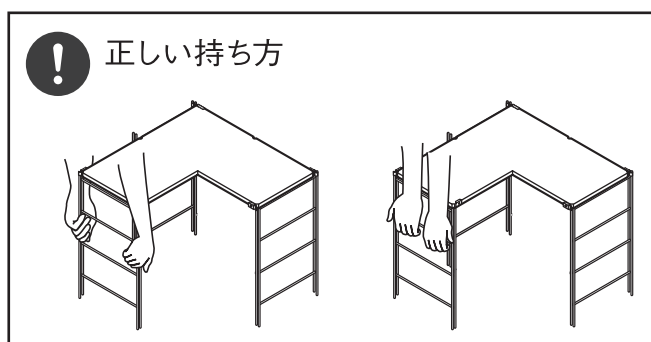
〈組み立てた状態で動かす場合〉

- 棚板を持って、持ち上げないでください。
棚がはずれて物が落ち、思わぬケガや器物破損の原因となるおそれがあります。
組立後の移動は必ず収納物を取り除いてから2人以上で左右から帆立部分をしっかり持って移動してください。
- 床面を引きずったり、押したりしないでください。
床面のキズや破損の原因になることがあります。



〈引越しなどで運ぶ場合〉

- 引越しなどで移動をする際は、組み立て前の状態に戻してから運んでください。ケガや破損、床面へのキズの原因となります。



廃棄について

- 廃棄の際は、居住地域の自治体のルールに従い、処分してください。

お手入れ方法

保守・点検

- 破損、変形した状態では使用しないでください。商品の強度が弱くなりケガをするおそれがあります。
- 取り付け部にゆるみやグラつきがないか定期的に点検し、ゆるみははじめたらしっかり締めなおしてください。ケガや破損、床面へのキズの防止となります。
- 害虫を発見した場合は、直ちに殺虫や防虫処理をしてください。放置すると虫害が拡大するおそれがあります。

木部のお手入れ

- 塗装面のほこりはやわらかい布または、はたきで軽く払ってください。かたい布でほこりのあるままでこすると細かなキズがついてかえって逆効果です。通常、やわらかい布での乾ぶきで十分です。
- 化学雑巾を長時間接触させたままにしないでください。変色したり、表面がはがれたりするおそれがあります。

金属部のお手入れ

- 通常のお手入れはやわらかい布で乾ぶきしてください。ほこりなどはブラシや掃除機（弱設定）などを使って取り除いてください。
- 汚れのひどい時は、3～5%に薄めた中性洗剤を浸した布で汚れを落とし、その後、水で浸した布で洗剤分をよくふき取ってください。次に乾いた布で軽くふいた後、自然乾燥させてください。

ご使用に際して

天然木について

- 本商品は天然木（突板）を使用しているため、木目や色合いなど、商品ごとに天然木材特有の個体差があります。そのため、商品として木目や色調に差がありますが、あらかじめご了承ください。
 - 天然木（突板）は下記の条件により、割れや反りなどが発生することがありますので、ご注意ください。
- ①直射日光の当たる場所でのご使用は出来る限りお避けください。どうしても直射日光が当たる場合は、カーテンなどで出来る限り避けてご使用ください。
 - ②冷暖房器具の近くでのご使用は出来る限りお避けください。必ず冷暖房の風が直接当たらないようにしてご使用ください。
 - ③特に冬の暖房による室内の極端な乾燥は、天然木の割れ、反りを発生させる原因となります。

ホルムアルデヒドの対策について

- ホルムアルデヒドとは
シックハウス症候群の原因物質の一つといわれています。常温で気化する、無色で刺激臭のある化学物質で、家具はもとより建築資材・壁紙を貼る接着剤などに含まれています。少しずつ放散されるため、ホルムアルデヒドに汚染された室内に長期間いると目がチカチカしたり、喉に不快な刺激を感じたりすることがあります。濃度が高いと呼吸困難を起こす場合もあります。
- お部屋の換気について



❗ 家具を設置の際は、室内の換気を十分にしてください。
化学物質に敏感な体質の方や乳幼児などアレルギー症状を起こすことがあります。

ホルムアルデヒドは空気中に放散されやすいので、普段からこまめに室内の換気を行うようにしてください。特に複数の家具を同時に設置した場合は、窓をできるだけ広く開け、十分な換気を行ってください。室内の温度が高くなると、ホルムアルデヒドは多く放散される傾向がありますので、夏季に室内を長時間閉め切っている場合は、特に換気をするようにご注意ください。換気効率を上げるため複数の窓を開けたり、換気扇、扇風機、サーキュレーターの利用をおすすめします。

- 化学物質に敏感な体質のお客さまへ
ホルムアルデヒドに限らず、シックハウス症候群に該当する化学物質の許容量には個人差があります。よって、室内濃度指針値（健康上望ましいとされるホルムアルデヒドの室内濃度値）以下の濃度であっても反応する体質の方もいらっしゃいます。現段階の無印良品の家具におきましても、ホルムアルデヒド放散量の少ない材料を極力使用しておりますが、まったく放散されないわけではありませんので、ご注意ください。
アレルギー症状が起きた際は、医師にご相談されることをおすすめします。
- ホルムアルデヒド吸着・分解シートについて
狭い空間ではホルムアルデヒドは逃げ場がなく、材料に再吸着する可能性があります。そこで、お手元に届くまで少しでもホルムアルデヒド濃度を低下させるために、無印良品の家具には、ホルムアルデヒド吸着・分解シートを同梱しています。
※同梱の「ホルムアルデヒド吸着・分解シート」は効力が落ちておりますので、燃えるゴミとして処分してください。

製品仕様

品名	ステンレスユニットシェルフ・追加棚・コーナータイプ			
	オーク材		ウォールナット材	
J A N	4549337413887		4549337413894	
製品寸法	幅805×奥行805×高さ18 mm			
製品重量	約5.5 kg			
用途	ステンレスユニットシェルフ用棚板			
耐荷重	棚板1枚あたり約30 kg (棚全体で均等に荷重をかけた場合)			
全体荷重※	帆立サイズ ミニ	帆立サイズ 小	帆立サイズ 中	帆立サイズ 大
	約30 kg	約50 kg	約75 kg	約100 kg
材質 (オーク材突板)	フック：ステンレス鋼 棚板：天然木化粧積層材 (オーク材突板) 表面加工：棚板 アクリル樹脂UV塗装 ：フック 電解研磨仕上げ			
材質 (ウォールナット材突板)	フック：ステンレス鋼 棚板：天然木化粧積層材 (ウォールナット材突板) 表面加工：棚板 アクリル樹脂UV塗装 ：フック 電解研磨仕上げ			

※シェルフ単体での全体耐荷重は帆立サイズごとに設定されていますのでご注意ください

Made in Taiwan

お問い合わせ先

商品のお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくは下記お客様相談室までご連絡ください。

株式会社 良品計画

お客様相談室でんわ



0120-14-6404

S2Y00904